

応募
方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。
毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。（☎koho@city.shiroishi.miyagi.jp）

市民文芸

歌壇 岩崎 聰之介 選

息子夫婦に生まれ来む子は女だと言ふいつかは
我の恋の話をせむ 寺崎 悦子
負けられぬ あなた九十歳われ八十歳なんだ坂
こんな坂と追いかけて行く 村上八重子
覚えある曾孫の着たるワンピースあれは手づく
り子へ送りしもの 佐藤喜恵子
雨乞いの神事のニュースさもあらん我も思わず
掌を合わせ居る 佐藤ひろ子
堂袋の一輪揺るる背戸の山摘みたる童女の指は
可愛し 山田 啓悟
木斛の花の香りに誘われて群れなす蜂の羽音に
ざわし 末吉アツ子
広報を見つれば昭和期間中にいまし先生の文章が載る
申請も各自画面でと並ばされ免許更新なんとか
済ます 佐藤 啓子
ふるさとに戻りて見ればせせらぎは昔と同じ梅
花藻咲くよ 岩松 幸子
ドラマでは百の資格を持つ女われはやつとこ八
つ趣味をもつ 小室アイ子

評一首目、やっとお孫さんに会えそうだと仰る。四句、
五句、何とも遙か先のことはあるが、赦されよう。
二首目、とにかく頑張つて居られる先輩を追う私。
なんだ坂、こんな坂が効果的。
三首目、愛おしむ思いが代々へ。そして子らの想い
もまた作者へと帰ってこよう。

俳壇 山家 弘子 選

列島の真つ赤に染まる暑さかな
真新しい回り灯籠夫偶ぶ
紫陽花や久方ぶりの恵み雨
墓参り煙草と鉛を供えけり
水清き白石川や柳散る

末吉アツ子
菊地せつ子
村上八重子
平間 幸恵
星 明

柳壇 四竈 英夫 選

空梅雨に雨降り田畑生き生きと
天気予報いつまで続く猛暑かな
虹の橋のぼる階段欲しくなり
雷鳴や梅雨明けならん予感あり
冷奴五臓六腑の満足す
評一句目、テレビで報ずる天気予報。高温で日本列島
は真つ赤に。所々は紫色の危険な暑さに。エアコン無
しでは生きていけぬ世になった。
二句目、亡き夫のために買った回り灯籠。夫との色々
の思い出が走馬燈のように思い出され、この世の無常
を思ふ。
三句目、雨が降らず水不足が心配に。そんな時に降つ
てくれた雨。紫陽花が嬉しそう。

開門三十年城で出会ひし歴女かな
灯籠に感謝満載流れ行く
古電話ジーコと回せば昭和の声
老眼は眼鏡をかけて顔を刺る
ひまわりも続く猛暑にうなだれる
声かけ合い水分補給老い二人
久しぶりの雨に雑草のびのびと
寝返りを何度も打って熱帯夜
ジジババに迎え火花火孫五歳
カムチャツカ揺れなし津波恐ろしい
大庭美智子
我妻 孝則
小室アイ子
木村 芳春
遠藤 松雄
末吉アツ子
志村かつい
佐藤 啓子
星 明
菊川いつ子

評一句目、昨年は市制施行七十年、白石城開門三十年
の記念すべき年だった。祝賀の仕上げはNHKのど自
慢。全国にその名が広がった。
二句目、灯籠にさまざまな思いを込めて水に浮かべ
る。元気で暮らせる感謝の気持ち。天上の霊に寄せる
思い。水面に漂う灯は気持ちを鎮めてくれる。
三句目、懐かしくなったダイヤル式の電話機。今は
タッチ一つで電話が繋がるスマホ。時の流れに感慨も
一入。どこまで進化を続けるのか。

Shiroishi Market

フレッシュマーケット

～地元農産物の魅力を発信～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。

～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進！～

市内の農産物
直売所情報▶



▲看板と赤いのぼりが目印です



▲地元の方から市外の方まで、幅広いお客さんが利用しています

直売所紹介「馬牛沼産直センター」

斎川地区の生産者が手がける自慢の農産物や加工品を販売。商品は、生産者が朝搬入しているので、とても新鮮です。毎年好評の「新米まつり」は、10月4日(土)～19日(日)に開催。蔵王のおいしい水と粘土質で作られた「斎川米」の新米をお得に入手できる機会です。皆さんぜひお越しください！

●営業時間 火・木・土・日 9:00～16:30

●住所 斎川字馬牛1-3（国道4号沿い馬牛沼付近）

☎25-0520

☎農林課 ☎22-1253

皆さんからのすてきな情報を待っています！／

まちかどズームイン



▲熱心に鬼瓦作りに取り組む生徒たち

伝統の瓦作りを体験

白石工業高校「鬼瓦作り」

9月12日、白石工業高校で「鬼瓦作り」が行われました。これは、県瓦工事組合が瓦の普及、地震対策などの認識を深めるために開催したもので、生徒たちは講師の指導のもと、粘土で鬼瓦作りを体験。建築科1年生の長谷川千陽さんは「力が必要なので大変でしたが、うまく作ることができました」と話してくれました。



▲議場を見学し、真剣な表情で説明を聞く白石中学校の生徒たち

働くことの意義を学ぶ

東中学校・白石中学校の生徒が職場体験

9月3日～4日に東中学校、10日～12日に白石中学校の生徒が職場体験のため、市役所を訪れました。生徒たちは、庁舎や市内の観光施設などを見学。職員の説明に真剣に耳を傾けていました。参加した生徒は「市役所には、いろいろな仕事があることがわかりました」などと話し、働くことへの理解を深めていました。



1_大会名物の登り坂に挑戦する熱い走り
2_力強い走りで激坂に挑むランナーたち
3_沿道の声援に応え笑顔でフィニッシュへ

笑顔と声援響く秋の激坂レース！

第39回しろいし蔵王高原マラソン大会

9月14日、南蔵王野営場を発着点とする「第39回しろいし蔵王高原マラソン大会」を開催しました。全国屈指のアップダウンを誇る名物コース「激坂」に、全国から集まった1,108人のランナーが挑戦しました。コースは想像以上の高低差があり、苦しい表情を浮かべる人もいましたが、沿道から送られる温かい声援や、スタッフ・

ボランティアの手厚いサポートに後押しされ、ランナーは力強い走りを見せていました。今大会では、3km小学生女子の部で大会新記録が生まれ、大きな拍手が送られました。前日までの雨天が嘘のように青空が広がり、爽やかな秋風の中、参加者は思い思いに走りを楽しみ笑顔で大会を終えました。来年は第40回の節目を迎えます。